



大好きなこのまちで、これからもずっと

# kurihalife

【クリハライフ 3月号】

TAKE  
FREE



栗原市

kurihalife  
【クリハライフ】

【お問い合わせ】  
宮城県栗原市 企画部定住戦略室  
TEL : 0228-22-1125

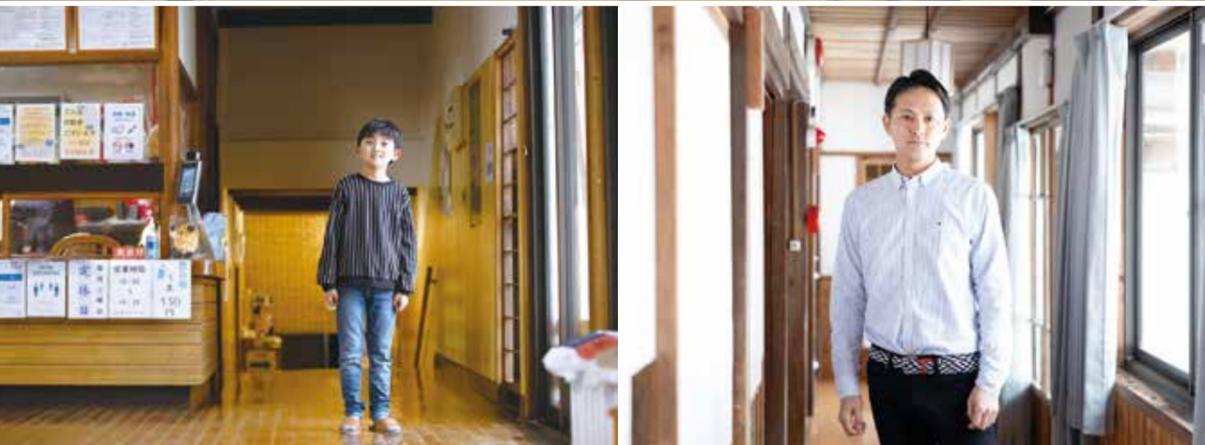
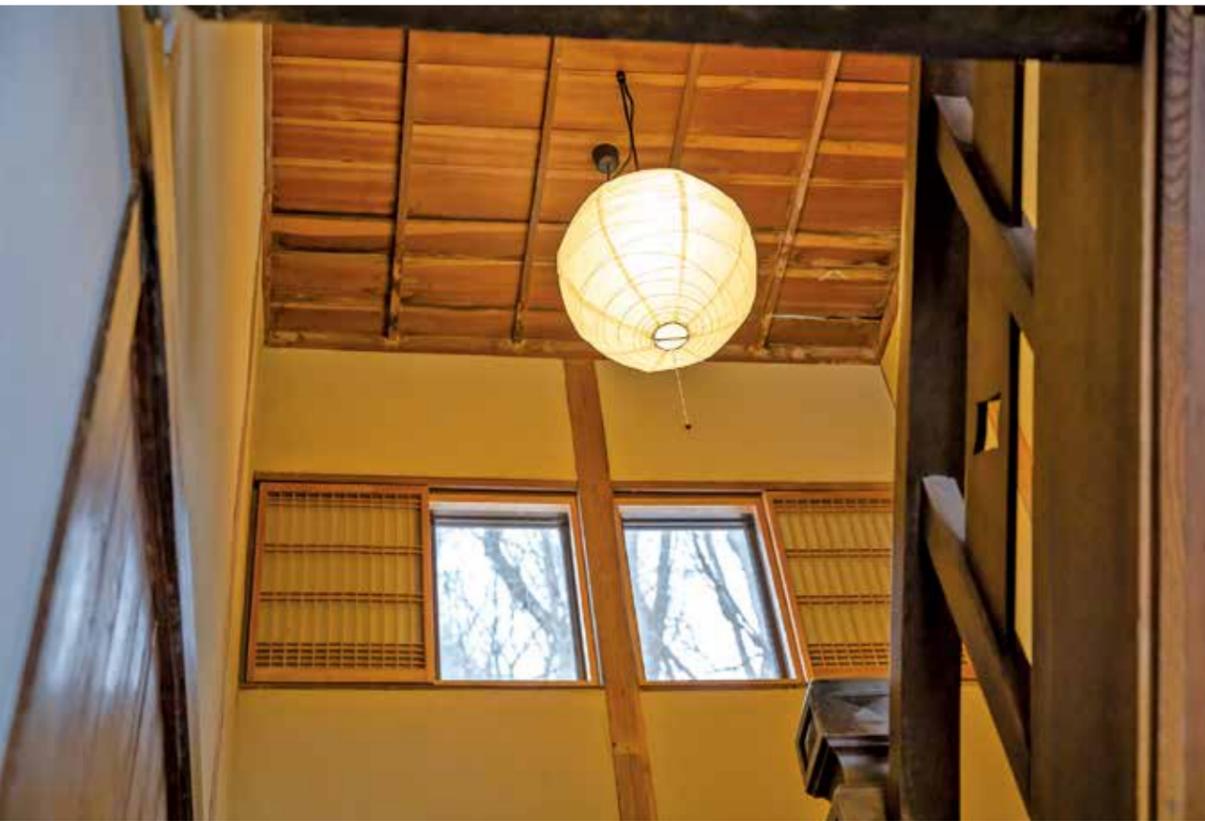
【発行】株式会社 メディアバレット編集部  
宮城県仙台市青葉区中央4丁目9-15-406  
TEL 022-716-5012



環境にやさしい植物油インク  
【VEGETABLE OIL INK】で  
印刷しております。



インスタグラムは随時更新中!



# ほつ。

## 栗原のほつ。

栗原で暮らすということ——  
それは、あったかい場所と、  
あったかい人に、いつでも  
会えるということ。  
心とからだに「ほつ。」とする。  
それが、栗原での暮らしです。

## 建物のほつ。

初めて来たのに、なんだか懐かしい。  
栗原には、そんな場所がいくつもあります。  
それは、栗原の人たちが、昔からあるものを  
大切に大切に残してきたから。  
古き良きニッポンが、ここにはあるのです。



撮影場所：佐藤旅館



ほっ。



### 家族のほっ。

きれいでおいしい空気を、  
肺の中いっぱい吸い込み、  
はしゃぐ子どもの成長に目を細める。  
一日二日追うことに、家族の絆は  
深くなっていくことでしょう。  
それが、栗原で暮らすということなのです。



### 栗原で紡ぐ、家族の物語

澄んだ空気と水、そしておいしい食材があつて、  
大人にも子どもにとっても最高の遊び場となる自然があつて、  
あつたかい人たちの笑顔もたくさんある。  
栗原での暮らしは、都会では絶対に体験できない  
たぐさんの喜びと驚きにあふれています。  
大好きなこのまちで、これからもずっとずっと  
家族の物語を紡いでいきますように――。

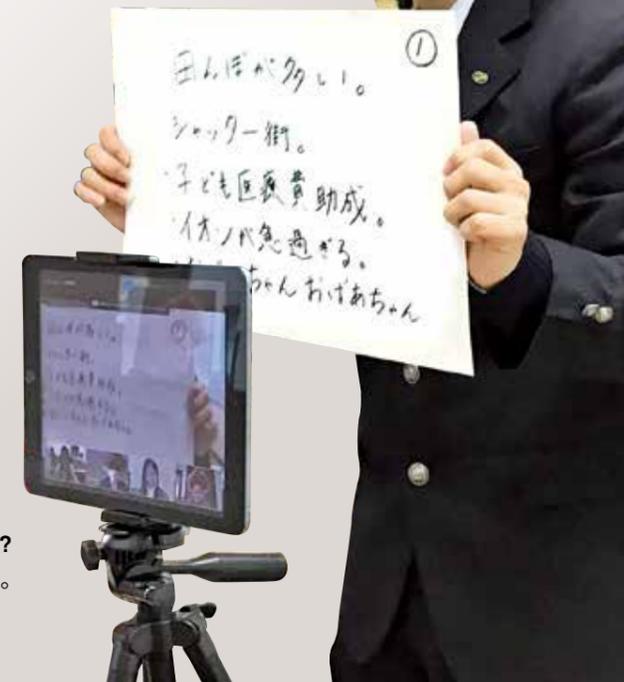




# 栗原市主催 中学生 & 高校生 オンライントーク Discussion ディスカッション vol.01

Middle school students & High School Student  
Online Talk Discussion

栗原市に住んでいる中学生・高校生は自分の町をどのように考えているのだろうか？  
2021年1月16日(土)にオンラインを使用してトークディスカッションを行いました。  
当日の様子をお伝えします！



Q 自分が住んでいる栗原市はどんな街だと思ってる？

●田んぼが多くて、いきなりでっかいイオンが出てくるので、心臓に悪い(笑)。小さいお店が少なくて、シャッター街が目立ちますね。あとは、おじいちゃん、おばあちゃんが多いけど、若い人は少ない。小さいお店がないのも、人が少ないからだと思うので、もっと町の魅力を増やして「人のいる栗原」を作ることが大事かな。そうすれば、人も増えると思います。

【築館高等学校】

【築館中学校】

●子どもから高齢者まで暮らしやすいまちだと思います。特に子どもに対しては手厚くて、18歳以下は医療費が無料になります。ただ、映画館がないから、あればいいなあ。

【迫桜高等学校】

Q

栗原市のいいところってどこかな？逆に好きじゃないところはなんだろうか？

●ジオパークに代表されるように、自然が多いのがすごい！あとは、部活でいろいろな人に会いますが、本当に人があたたかいと思う。

【二迫商業高等学校】

●人があたたかいのが大きな魅力。通学のときはいろいろな人が挨拶してくれて、ほっこりした気持ちになります。

【岩ヶ崎高等学校】

●農家が多いので、食材が安いのも魅力だと思います。秋には、栗駒山の紅葉がすごくきれいだけど、意外と登ったことがある人が少ないのは残念。

【築館中学校】

●栗原じゃない場所で遊ぶとしてもバスの本数が少なすぎ。とにかくバスの本数を増やしてほしい！

【二迫商業高等学校】

Q

未来の栗原はどんな街だったら嬉しい？そのためにどうすればいいと思う？

●「住みたい田舎ベストランキング」で東北第1位になったくらいだから、もっとたくさんの人に住んでもらうためにも、お店がもっと増えたらうれしい。SNSでやりたい人を募集してみたらどうでしょうか。

【迫桜高等学校】

●サバイバルゲーム施設を作れば、東京からも人が来ると思う。【岩ヶ崎高等学校】

●シャッター街が多いので、ここにお店を出しやすい環境を作ってほしい。あとは、栗原でも外国籍の人を採用している企業があるので、外国人が住みやすいまちにするのも、いいと思います。【築館高等学校】

●おじいちゃん、おばあちゃんが多いので、高齢者向けサービスを充実させていくのがいいと思う。【築館中学校】

Q

他県よりこれは勝てる！絶対的栗原の魅力ってなんだろう？

●子育てするのに最高の環境が整っているところ。医療費は無料だし、赤ちゃん用品支給券が支給されるのは、なかなかないと思います。【迫桜高等学校】

●色彩が豊かなところ。夏は田園風景の鮮やかな緑、秋は田んぼが黄金色になって、冬が雪で真っ白になる。本当にきれいです。【岩ヶ崎高等学校】

●地域資源が豊かなところと、人のあたたかさ、子育てのしやすさは、どこにも負けないです！【二迫商業高等学校】

●全国一位生産のパプリカ！市長が、栗原のパプリカは東京でも流通していると話していました。すごい存在なんだなと思いました。みんなに食べてほしいです。【築館高等学校】

## ディスカッションに参加した生徒の声

パネリスト派遣、アドバイザー派遣、学校では学べないことを栗原のカッコいい大人から学ぶ「金曜8時間目」、栗原でできることや、やってみたいことを考える授業や地元商店街を写真部員が魅力的に切り取るプロジェクトなど、さまざまな形で栗原市と共に活動してきた、「中学 高校生プロジェクト」。

プロジェクトに参加してくれた築館中学校、築館高等学校、一迫商業高等学校、岩ヶ崎高等学校、迫桜高等学校のみなさんが、一堂に会してのオンラインディスカッションに挑戦しました。初めての試みで、最初はコメントも遠慮がちだったものの、次第に地元愛を語る姿は熱っぽくなり、それぞれの「栗原愛」に触れ、刺激を受けた様子。

このプロジェクトは、令和3年度以降も栗原市の共同プロジェクトとして続き、栗原市の10代たちと共に、今回の様な意見交換の時間の中で若者目線の栗原の魅力再発見につながる様に、多角的な企画を一緒に取り組んで行く予定です。

栗原の同世代の人たちの意見を聞けたのがよかった。みんな地元が好きなんだなってうれしくなった。

SNSでお店をやりたい人を募集するとか、外国人の人たちが暮らしやすくする…など、若者視点の意見がよかった。

奇抜なアイデアも飛び出して、聞いてて楽しかった。今日出たアイデアを全部実現できたらすごいまちになるかも！

高校生のみなさんの意見はさすが。自分たちはまだまだ考えが足りないな、ってちょっと反省しています。

## 参加してくれた学校一覧

- 迫桜高等学校(1年生写真部) ..... 5名
- 一迫商業高等学校(商業研究部) ..... 5名
- 築館高等学校(2年生生徒会) ..... 5名
- 築館中学校(2年生生徒会) ..... 4名
- 岩ヶ崎高等学校(1年生) ..... 5名



# おすすめ飲食店

部門  
ベスト3

1位

## 西屋ラーメン

お昼時も早い時から駐車場が満車になる人気店。一番人気の「特製ラーメン」は醤油ベースで鳥の旨味が濃縮されたスープ。チャーシュー、煮玉子、ワカメ、メンマ、ネギ、海苔などトッピングも多く、じっくり煮込んだ濃厚なスープが細麺に絡み、癖になる美味しさ。メニューも豊富なので、毎回目移りしてしまいます。

☎ 0228-25-3357  
栗原市志波姫堀口源光7-2  
🕒 11:00~14:30 18:00~20:00 ※火、水曜日は星のみ営業  
🚫 なし ※スープなくなり次第終了



西屋社長に1位の盾を贈呈しました。

2位



☎ 0228-45-3185  
栗原市栗駒ケケ崎八日町22  
🕒 10:30~20:30(ラストオーダー20:00)  
🚫 毎週水曜日

## 和洋レストラン チロル

パスタやハンバーグなどの洋食メニューから定食、スイーツまで食べたいものが何でもあり、いつも賑わっている町のレストラン。カウンターがあるので、ひとりでも家族でも楽しめます。

3位



☎ 0228-52-2028  
栗原市一迫真坂字町東181-2  
🕒 昼11:30~13:30 夜17:00~22:00(要予約)  
🚫 不定休  
※現在、コロナウイルス感染対策のため夜の営業は要予約にて営業しております。

## 会席料理 丸勝

昭和32年創業。以来、地産地消をモットーにした「和食」を基本とした創作料理に定評のある、地域とお客様に愛されている人気のお店です。



行商から始まった  
田んぼの真ん中の昆布会社  
和食を支える「だし」を重んずる  
食文化の担い手として



# くりはら創造記

vol.5

未来を担う企業たち

クリライフ1月号で募集した、「クリハランキング」企画。その結果を発表致します。地元民はもちろん、栗原市外に住む読者の皆さんからもたくさんのおすすめ飲食店・おでかけスポットを教えてくださいました。みんなで春の栗原へ！おでかけの参考にしてください！

## みんなの投票で決まりました！ おすすめ飲食店 & おでかけスポット クリハランキング

結果  
発表

KURIHARANKING

1位

## 伊豆沼

伊豆沼・内沼には、毎年2,000~3,000羽のオオハクチョウがやって来ます。伊豆沼・内沼は、オオハクチョウの日本一の越冬地です。沼の堤防からは、大きなハクチョウが、頭上を飛んでいく迫力満点の光景を見ることができます。

●アクセス：東北自動車道築館インターチェンジから車で約15分



2位

## くりでんミュージアム

ミュージアムでは、くりはら田園鉄道の貴重な資料の展示のほか、沿線を再現したくりでんが走るジオラマや、実際に営業運転していた車輛の運転席で体験する運転シミュレーター、くりでんの歴史をドラマ仕立てで伝えるミニシアターがあります。

☎ 0228-24-7961  
栗原市若柳字川北塚ノ根17番地1  
🕒 午前10時から午後5時まで(入館は午後4時まで)  
🚫 火曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始

3位

## 細倉マインパーク

細倉マインパークは、宮城県栗原市鶯沢の大自然に囲まれたテーマパークです。細倉鉱山1,200年の坑道を体感でき、鉱山の歴史を学べます。屋外では、大自然に囲まれた555メートルのスライダーパークで風を切ってすべろう！

☎ 0228-55-3215  
栗原市鶯沢南郷柳沢2-3  
🕒 3月1日~11月30日 9:30~17:00  
12月1日~2月下旬 9:30~16:00  
🚫 火曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始

KURIHARA'S SPOT

# おでかけ スポット

部門  
ベスト3

## 株式会社 大平昆布

- 住所：〒989-5611 宮城県栗原市志波姫南郷蓮田1
- 電話番号：0228-25-3553
- 従業員数：男子/15名 女子/9名(合計24名)
- 事業内容：昭和23年創業した県内唯一の昆布専門業者。主に北海道、青森から仕入れ、昆布を中心に海藻の加工、販売を行っている。平成28年から始めた手削り加工のとろろ昆布が人気商品で、志波姫堀口に加工センターと直売所を構える。

ホームページ <https://www.taiheikonbu.co.jp/>

倉庫に積み上げられた箱の中身はすべて昆布。第3倉庫では約150トンの昆布が出番を待っています。「ここにある昆布を水で戻し、それを叩いて石などの異物を取り除くのが私の仕事です。力仕事ですが、男性社員の皆さんが仕事の状況を見て手伝ってくれるので働きやすいです。」と黄海(きうみ)香織さん。結婚して栗原に来ましたが、出身が岩手の沿岸部なので、海藻を扱うこの会社に親近感を持ち入社しました。

大平昆布では昆布の一次加工を行っており、松前用、佃煮用など用途に応じて、昆布の種類の配合を変えて刻んだものを出荷しています。「自分が関わ

た製品が、松前漬けなどに加工されてスーパーに並んでいると嬉しいですね」と黄海さん。昆布以外にも海苔やアカモクなどの海藻類、海藻パウダーも扱っています。「とろろ昆布は味噌汁に入れたり、お餅やおにぎりにも便利です。ご飯にかけて醤油をちょっと垂らすのも美味しいですよ。」

5歳と3歳の娘さんがおり、急に幼稚園に迎えに行くことになっても、同僚たちが協力してくれるそう。「若い子たちが子育てする番になったら、私もそうしてあげないと」と黄海さん。和気あいあいとした職場から、美味しく体に良い昆布を食卓にお届けしています。

# Concierge

栗原の暮らしを **ありのまま** に伝える案内人

移住前も移住後も、相談できる相手がいる安心感。  
『くりはら移住定住コンシェルジュ』に会いにいきましょう！

## 「くりはら移住定住コンシェルジュ」って何ですか？

移住相談の窓口になる市役所だけでなく、実際に移住した人やずっと暮らしている人の話を聞いてみたいーお任せください。栗原にはそんなあなたの相談役&アドバイザーがたくさんいます。

23組・36人の「くりはら移住定住コンシェルジュ」が、仕事や住まい、あなたが住みたい地域のことを直接教えてください。実際に暮らすとなれば、いろんなことがあります。良いこと、楽しいことだけでなく、よりリアルな声も聞けるかも。

## コンシェルジュはこんな人たち！

それぞれのコンシェルジュの特徴をご紹介している、コンシェルジュ・マップを発行いたしました。どんなきっかけで移住したの？仕事は何をやっているの？農業や起業でお店を構えた人、栗原の魅力を伝えるユーザーまで多士済々！栗原のここに住んでみたいという場所も見つかるかもしれません。実際に会ってみたいと思ったら、定住戦略室にご連絡ください。

※コンシェルジュ・マップは右のQRコードからご覧いただけます。

私達が相談に乗ります!!

2021 住みたい田舎ベストランキング 東北第1位の理由は、ここにあり!

栗原市定住戦略室  
☎ 0228-22-1125  
teijusokushin@kuriharacity.jp

## 移住・交流の総合案内所

# 仙台くりはらオフィス

## 「くりはら夜カフェ」イベント開催情報

2020年10月から、気軽に集まって交流するイベント  
「くりはら夜カフェ」を毎月1回開催しています。

### 4月2日(金)の夜カフェ

今回の夜カフェは栗原山麓ジオパーク推進協議会のジオパーク専門員、中川理絵さんをゲストスピーカーにお招きします。仙台から栗原へ移住されて6年、ジオパークによる地域課題の解決に向けて取り組まれていますが、仙台ご出身の中川さんが栗原と関わるきっかけから現在のジオパーク専門員として活躍されるまでの「移住者ストーリー」をお話し頂く予定です。

ワークショップは「岩石標本づくり」を行います。ジオパークエリア内の岩石を台紙に貼り付けながら、大地と人との関係についてのバーチャルジオツアーを通じて、自分だけの岩石標本をつくれます。栗原へ移住などの予定がなくても参加可能です。



- 4月2日(金) 19:00~21:00 ● 会場:TAGE community
- 参加費無料【事前に申し込み下さい】
- 新型コロナウイルス感染症対策を行って実施します。

### 「ジオパークによる地域課題解決へ向けて」

講師:中川理絵さん(栗原山麓ジオパーク推進協議会 ジオパーク専門員)



その他の開設日、参加の予約や  
お問い合わせはコチラまで



栗原市定住戦略室  
☎ 0228-22-1125  
teijusokushin@kuriharacity.jp



栗原市定住戦略室  
☎ 0228-22-1125  
teijusokushin@kuriharacity.jp

～栗原かかわり・つながり案内所～  
オンライン移住相談

栗原への移住ありき。ではなく、まずは「田舎ぐらし」ってどんなものなの？ 皆さん、漠然としたところから始まっています。栗原市はそんな皆さんのお手伝いをオンラインでさせていただきます。どうぞ、お気軽にご相談ください。

相談日	月曜から金曜までの平日
開設時間	午前10時から午後4時まで
相談時間	1回あたり30分から40分程度のご相談となります。
相談料	無料(ただし、通信料は自己負担になります。)
申込み	希望日の3日前までに下記の申込みフォームから申込みをお願いします

ご都合により、平日の夜間及び土曜日・日曜日の相談をご希望される場合は定住戦略室にメールまたはお電話でお気軽にお問い合わせください。

# くりっ子ドクター 子育て無料相談室



立春が過ぎ、三寒四温のこの頃ですが、コロナ禍もあり、外で元気に遊べるようになるのはまだ先のような感じです。そんな時に気をつけたいのが「メディア依存」「ゲーム依存」です。いつでもどこでもゲーム、動画をみることが出来るようになりました。

ゲームについて、以前と変化したところをまとめてみます。

- ①エンディングがなくなった(アップデートされ続ける)
- ②コミュニケーション機能がついた(離れた人、知らない人との交流)
- ③やりこみ要素が多くなった
- ④画質の改善

このことにより、「ゲームに飽きる」ということがなくなりつつあり、「ゲームから抜けられない」という子ども達も増えています。そして今後、さらに加速すると思われます。「深い依存」になってしまうと、不登校、引きこもりなどのリスクが高くなります。早い段階で対応していきたいですね。栗原中央病院では「ゲーム依存」「メディア依存」の相談を行なっております。(栗原市在住者限定)



小児科専門医  
宮野 峻輔 先生

「くりっ子ドクター子育て無料相談室」の利用、もしくは、火曜日・金曜日の午後の予約外来をご利用ください。

無料相談室、診療については、まずは皆さんからお話を聞かせていただき、基礎疾患の有無や発達特性について検討いたします。必要に応じて、ペアレントトレーニングや環境調節、専門医療機関との連携を取ります。また、放課後等デイサービスなどとの連携も取っていきますので、お気軽にご相談ください。

## くりっ子ドクター 写真館



酒造メーカーと  
栗原の子どもを繋ぐ

- ①酒造メーカーご夫妻と宮野
- ②栗原の子どもがデザインしたラベル

## 病院にかかる必要はないけれど…でもちょっと気になる…

子育てについてちょっとした疑問・悩みをお持ちの

ママ・パパ・じいじ・ばあば！小児科専門医のくりっ子ドクター

(栗原中央病院 宮野峻輔医師)に相談してみませんか？

開催日時 毎月最終火曜日 14時～15時  
※但し、都合により急な変更もあります。

場所 栗原中央病院2階中会議室  
(総合案内にお声がけください)

お申込み 完全予約制となります。栗原市在宅医療・介護連携支援センターまで  
お電話にてお申込みください。

【お問合せ】 栗原市在宅医療・介護連携支援センター  
〒987-2205 栗原市薬館宮野中央3丁目1-1 栗原市立栗原中央病院内

☎ 0228-21-5357  
受付時間：平日9時～16時30分